

# World News

## ロケット関連ニュース

### 1. H-IIA ロケット 8号機は陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)の打上げ成功

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、平成 18年 1月 24日 10時 33分(日本時間)に、種子島宇宙センターから陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)を搭載した H-IIA ロケット 8号機(H-IIA・F8)を打ち上げた。8号機は正常に飛行し、打上げ約 16分 30秒後に「だいち」を分離したことを確認したと発表した。また、「だいち」



H-IIA 8号機打上げ JAXA 提供

からの信号はオーストラリアのパス第 1可搬局にて 10時 52分に受信し、太陽電池パドルの展開が終了したことが確認された。

陸域観測技術衛星「だいち」の軌道計算結果は以下の通りである。

	決定値	計画値
遠地点高度	711.4km	(709.8km)
近地点高度	692.9km	(692.5km)
軌道傾斜角	98.2度	(98.2度)
周期	98.8分	(98.8分)

- JAXA 2006.1.24 プレスリリース記事 -

### 2. Arianespace 社は Skynet 5C 軍事通信衛星を打上げると発表

EADS Astrium Ltd. は、英国防衛軍の 3番目の軍事通信衛星 Skynet 5C の打上げ契約を Arianespace 社と締結した事を公表した。Jean-Yves Le Gall Arianespace 社 CEO は、「本日 Skynet 5C 衛星の打上げ契約を EADS Astrium Ltd. と締結の契約サインを行った事を明らかにした。同時に EADS Astrium は、すでに Skynet 5A および Skynet 5b の打上げでも



Ariane 5 Arianespace 提供

Arianespace を選択している事も公表した。Skynet 5A および 5b と同じように Skynet 5C は、フランス領ギアナの Kourou スペースセンターから、Ariane 5 により、地球静止軌道上にある転送軌道に打上げられる。打上げは 2008 の予定である。Skynet 5C は EADS Astrium のために Arianespace によって打上げられ、その後軍事通信衛星プロバイダーとして世界で最初の Paradigm Secure Communication 社に軌道上で納入される。Paradigm 社は英国軍、NATO 及び多くの他の国と安全な通信を提供する契約が結ばれている。

Skynet 5 衛星 EADS Astrium により製造は打上げ時重量が約 4700 キログラムある。Arianespace 社は、既に英国防衛軍に対し Skynet 4b、4C、4E、および 4F 衛星を打上げている。Ariane 5 ロケットは、共通な欧州防衛及び安全政策の開発に必須のキーとなっている。Skynet 5C は、欧州の打上げロケットに任せられた 26 番目の軍事衛星である。

- Arianespace 2006.1.4 プレスリリース記事 -

### 3. 強力な ILS 社の ATLAS ロケットで 冥王星へ高速ミッションを打上げ

国際衛星打上サービス会社 (ILS) によって提供された ATLAS V ロケットは、2006 年 1 月 19 日冥王星探査の為、9 年半ミッション、NASA の New Horizons 宇宙探査機を首尾よく打上げに成功した。ATLAS V-551 モデルは米国東部時間午後 2 時に上げられた。ロケットの RD-180 主エンジンと 5 本の固体のロケットブースターが 200 万ポンドの推力で、New Horizons 探査機を約

45 分後に毎秒約 10 マイルのスピードで地球軌道から放出する事に成功した。

これは、今日までに打上げられた最も強力な ATLAS ロケットで、ATLAS シリーズの 78 番目の、連続打上げ成功である。この打上げは ILS 社の今年最初の打上となった。



### ATLAS V 打上げ ILS 提供

New Horizons 探査機は、冥王星およびその月を探査する最初の専用宇宙探査機である。探査機は 30 億マイルを飛行し 2015 年に最終目的地に到着する計画である。

探査機は冥王星の地質と環境を調査する為に 7 つの科学観測装置を搭載し、それらの表面混合物と温度、冥王星の複雑な大気を調査する予定である。探査機は打上げ重量約 8700kg である。

- Lockheed Martin 2006.1.19 プレス記事 -

## 衛星関連ニュース

### 1 JAXA から運輸多目的衛星 2号(MTSAT-2) 及び赤外線天文衛星 (ASTRO-F)の打上げ日程が発表された

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は H- ロケット 9 号機で打上げられる予定の MTSAT-2 衛星と M-V ロケット 8号機で打上げられる ASTRO-F 衛星の打上げスケジュールについて次のように発表した。それによると、運輸多目的衛星新 2号 (MTSAT-2) /H- Aロケット 9 号機の打上げは平成 18 年 2 月 18 日、打上げ時間帯は 15 : 26 ~ 16 : 46 (JST) 打上げ予備期間は平成 18 年 2 月 19 日 ~ 2 月 28 日



MTSAT-2 衛星 イメージ JAXA 提供

ある。また、赤外線天文衛星 (ASTRO-F) /M-V ロケット 8 号機は平成 18 年 2 月 21 日、実験時間帯は 6 : 00 ~ 7 : 00 (JST)。打上げ実験予備期間は平成 18 年 2 月 22 日 ~ 2 月 28 日である。



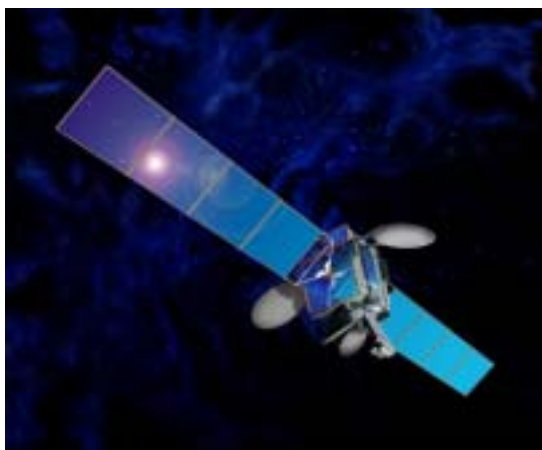
▲ ASTRO-F 衛星 準備状況 JAXA 提供

- JAXA 2006.2.1プレスリリース記事 -

### 2 . Loral Skynet のテルスター11N 衛星の製造が Space Systems/Loral で開始された。

Loral Skynet (Loral Space&Communications の子会社) は 2006 年 2 月 1 日、テルスター 11N 衛星 高出力の新しい多地域 Ku-バンド通信衛星 の製造がパロアルトの Space Systems / Loral (SS/L) で始まったと発表した。「Telstar 11N は北米固定衛星通信市場に対する継続性を提供する事に加えて 4 つの成長性のある地域において好機を有利にする為に其の衛星網を拡充する事になる。」と Patrick Brant Loral Skynet 社長は語った。また「この成長戦略のため、テルスター11N は、アメリカ、ヨーロッパ、およびアフリカ各地にビデオとデータを配信する事で、民間および政府顧客のニーズに、独特な機会を Skynet に与えてくれる事になる。」と語った。

Telstar 11N は 2008 の第 2 四半期にサービスインの予定である。39 の強力な Ku-バンドトランスポンダからサービスを西経 37.5 度の静止軌道上から北、中央アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、および海上の大西洋領域へ、それぞれの 4 つの独立したビームを提供する。



**Telstar 12 Loral 提供**

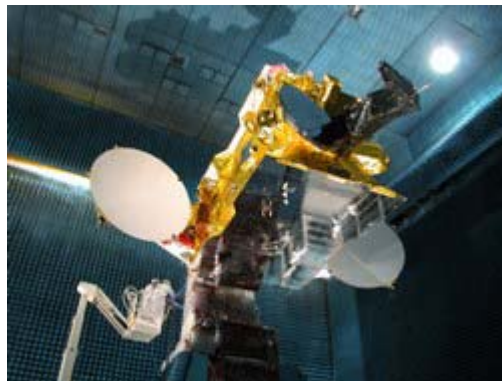
テルスター11Nは、西経15度のテルスター12衛星のサービス範囲を補完することが出来る。Loral Skynetの衛星は、現在アジア地域向けのテルスター10とテルスター18、環大西洋上のテルスター12で中東および南アフリカ 南北アメリカとヨーロッパをカバーする。さらにテルスター14/Estrela do Sulは南北アメリカとブラジルをカバーしている。

-Loral 2006.2.1 プレリリース記事

### **3 . EADS Astrium は Eutelsat 社向け Hot Bird 8 衛星の製造を完了**

衛星は、最終の顧客レビューが1月25日に実施され、製造最終段階を予定通りに正確に完了した事が承認された。 Hot Bird 8 は、ヨーロッパ地域サービス衛星の中では最も高性能な衛星である。

衛星は、まもなく、Astrium のツールズ工場から、打上げ射場の Baikonur に搬送される予定である。



**Ariane 5 Ariespace 提供**

東経13度の静止軌道位置から、ヨーロッパ、中東、および北アフリカの直接衛星放送を受信する1億の家庭及びケーブルテレビ局へテレビ、ラジオ、およびインタラクティブなサービスを提供する予定である。

Hot Bird 8は、64本のトランスポンダを同時運用が可能で、衛星寿命末期においても58本のトランスポンダを運用可能である。この能力は、前の世代の Hot Bird 衛星の衛星中継能力の3倍の能力がある。

衛星寿命は15年、太陽電池パドルの全長は39mで14KWの発電能力、寿命末期で11KWの発電能力がある。打上げ重量は5tである。衛星BUSはEurostar E3000を使用している。

-EADS Space 2006.1.30 プレリリース記事